



令和4年度みやこ町読書週間関連事業

図書館 de コンサート



育徳館高校管弦楽部のみなさんによるミニコンサートです。  
読書の手を休めて、すてきな調べに耳を傾けてみませんか？  
※この時間、館内に音楽が流れますことをご了承ください。

♪ 日時

10月16日(日)・10月23日(日)

10月30日(日)・11月3日(木・祝)

各日とも 午後1時30分～(各回15分程度)

♪ 場所

みやこ町中央図書館

♪ 演奏

福岡県立育徳館高等学校 管弦楽部

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止となる場合があります。



【昨年の様子】

《小説》

新刊案内

《その他》

- 『終活中毒』 秋吉理香子(著) 実業之日本社
- 『修羅奔る夜』 伊藤潤(著) 徳間書店
- 『煉獄蝶々』 岩井志麻子(著) KADOKAWA
- 『空を駆ける』 梶よう子(著) 集英社
- 『アナベル・リィ』 小池真理子(著) KADOKAWA
- 『嫌われ者の矜持』 新堂冬樹(著) 光文社
- 『愛という名の切り札』 谷川直子(著) 朝日新聞出版
- 『誤ちの絆』 堂場瞬一(著) 講談社
- 『汝、星のごとく』 凧良ゆう(著) 講談社
- 『よって件のごとし』 宮部みゆき(著) KADOKAWA
- 『そして誰もゆとらなくなった』 朝井リョウ(著) 文藝春秋

- 『栄西を生きる』 ひろさちや(著) 佼成出版社
- 『旅に出たくなる地図 日本』 帝国書院(著) 帝国書院
- 『「ヤングケアラー」とは誰か』 村上靖彦(著) 朝日新聞出版
- 『ストレス脳』 アンデシュ・ハンセン(著) 新潮社
- 『家づくりははじめからおわりまで』 鈴木敏彦(著) エスクナレッジ
- 『フェルトで作る可憐な野の花』 関根明美(著) ブティック社
- 『鶏むねダイエット最強たんぱく質レシピ 150』 エダジュン(著) 主婦と生活社
- 『終止符のない人生』 反田恭平(著) 幻冬舎

10月



10/15は“もこもこ”のおはなし会です。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月



11/19は“きのこの子”のおはなし会です。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

おはなし会(会場:中央) 0～2歳くらい(11:00～) 3歳くらいから(14:00～)

休館日 ●中央 ●犀川・勝山 ●全館

※最新の情報はホームページをご確認ください。



# 図書館員おすすめの本

## 『チェレンコフの眠り』

一條 次郎(著) 新潮社(2022)



ペットのアザラシの”ヒョー”は、初めて家の外に出るが…。アザラシは当たり前には喋るし、かなり摩訶不思議な世界観ですが、他人事とは言い切れない世の不条理が詰まった作品。可愛い表紙とは裏腹に考えさせられる内容でした。[K]

## 『ケーキ王子の名推理(スペシャリテ)』

七月 隆文(著) 新潮社(2015~)

食欲の秋にお菓子がたくさん出てくる青春小説はいかがですか。

ケーキが大好きな女子高校生とパティシエ修行中の学校一のイケメン王子が、遭遇するトラブルを、お菓子の知識で解決する連作短編集です。

現在、6巻まで刊行中。 [Ma]



## 『妻はサバイバー』 永田 豊隆(著)

朝日新聞出版(2022)

摂食障害、アルコール依存症、精神疾患、46歳にして認知症にまで。苦悩の連鎖の繰り返しは、なぜ起きてしまうのか？根底は、やはり幼児期に暴力にさらされ、緊張と恐怖の中で生きてきた体験だという。それでも「必死に生きようとする」妻と「見捨てずに闘ってきた」夫の20年間を綴った一冊。

壮絶です…。 [S]



## 『那木野、伝説の森で』

西村 さとみ(著) 国土社(2021)

夏休み、神社の守人の祖母の元で過ごす優。裏山で不思議な少年と白い仔犬に会う。その頃御神体の石にヒビが入っている事に気付き「悪い事のおこる前兆だ」と心配する祖母。2人と1匹でこの石と森を脅かすものに立ち向かっていく。 [Dream]

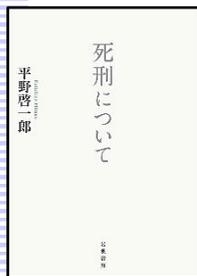


## 『死刑について』

平野 啓一郎(著) 岩波書店(2022)

2019年の講演会をもとに単行本化された一冊。死刑制度が存続している日本。とても難しい問題を取り上げている。法学部出身である作者自身の考えが読みやすく書かれている。

[とよ]

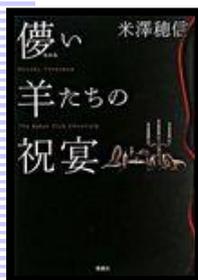


## 『儂い羊たちの祝宴』

米澤 穂信(著) 新潮社(2008)

夢想家のお嬢様たちが集う読書サークル「バベルの会」。夏合宿の2日前に凄惨な事件が起こる。翌年、翌々年も。4年目には更に悲劇が…。2022年「黒牢城」で直木賞を受賞した著者の本です。

[青]



## 【編集後記】

秋と言えばどんなものを思い浮かべますか？食欲、運動、いろいろありますが、図書館で読書の秋はいかがですか。秋にちなんだ特設やイベントも準備しています。ぜひ、お立ち寄りください。

【Ma】



図書館ホームページ

休館日

中央:毎週火曜日

犀川・勝山:毎週月曜日

全館:毎月最終木曜日

開館時間

全館 10:00~18:00

中央図書館 ☎33-1040

犀川図書館 ☎42-3330

勝山図書館 ☎32-3455

